

# 創業計画書（事業計画書）

# 【記入例】

お名前

作成年月日： 年 月 日

- この書類は、ご面談にかかる時間を短縮させるために活用させていただきます。お手数ですが、ご協力のほどお願いいたします。
- なお、本書類はお返しできませんので、ご了承ください。
- この書類に代えて、お客様ご自身が作成された計画書を提出いただいても結構です。

## 1 創業の動機・事業の経験等

(1) 今回創業予定の業種	<b>ソフトウェア開発業</b>		(2) 創業(予定)時期	○年 ○月
(3) 創業されるのは、どのような目的、動機からですか？	・勤務時代にソフトウェアの企画開発・製作・販売・運用・管理に一貫して携っていた経験が いかしたい。 ・元勤務先などからの支援もあり、事業の見通しが立ったため。			
(4) 過去にご自分で事業を営んでいたことはありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を営んでいたことはない。 <input type="checkbox"/> 事業を営んでいたことがあり、現在もその事業を続けている。 <input type="checkbox"/> 事業を営んでいたことがあるが、その事業をやめている。⇒やめた時期 年 月頃			
(5) 本事業の経験はありますか。(お勤め先、勤務年数など創業に至るまでのご経歴)	お勤めの期間		お勤め先(業種等)	
	○年○月～○年○月		○○工科学院卒	
	○年○月～○年○月		(株)○○システムズ(ソフトウェア開発業)7年勤務	
	○年○月～年 月		○○テータ(株)(ソフトウェア開発業)12年勤務 (医療関連事業部プロジェクトリーダーを務める)	
	○年○月～年 月		退職(退職金200万円)	
	現在		創業準備中 ( )	
(6) 取得されている資格等	(有) (ソフトウェア開発技術資格 平成○年○月取得) ・特になし			

## 2 取扱商品・サービス

(1) お取り扱いの商品、サービスを具体的にお書きください。	① 介護施設・医療施設用の顧客・財務管理システム開発 (売上シェア 80%) (300万円～1,000万円/件 開発期間3ヶ月～半年ほど)
	② 医療関連機器のファームウェア開発 (売上シェア 20%) (○○テータ(株)からの業務請負 平成○年○月○日契約締結済(契約期間 平成○年○月○日～))
(2) セールスポイントは何ですか。	・介護・医療関連のシステム開発の知識を活かし、システム開発の提供だけでなく、運用に関するコンサルティングも行なう。

## 3 取引先・取引条件

	取引先名(所在地)	シェア	掛取引の割合	回収・支払の条件		取引先名(所在地)	シェア	掛取引の割合	回収・支払の条件
販売先	① ○○テータ(株)(○○市) (元勤務先)	70%	100%	月末 日 翌末 日回収	仕入先	① ( )	%	%	日 日支払
	② 医療法人○○会(○○市) (元勤務先の販売先)	30%	100%	月末 日 翌末 日回収		② ( )	%	%	日 日支払
	③ ( )	%	%	日 日回収		③ ( )	%	%	日 日支払
	④ ( )	%	%	日 日回収		④ ( )	%	%	日 日支払
外注先	① ○○ソフト(株)(○○市) (元勤務先の外注先)	%	%	月末 日 翌々25日支払					
	② (株)△△テータ(○○市) (元勤務先の外注先)	%	%	月末 日 翌々25日支払					

従業員等	常勤従業員の人数(法人の方のみ)	2人	人件費支払	給与	ボーナス
	従業員数(うち家族従業員)	1人(0人)		末 日 翌25日支払	支給月
	パート・アルバイト	0人			6月・12月

4 今回事業に必要な資金と調達の方法

今回事業に必要な資金の内訳		金額(千円)
設備資金 (見積書等添付必要)	税抜きで店舗、機械、車、備品、家賃(敷金のみ)等が対象です。	
		6900 千円
	(内訳)	
	・パソコン・サーバー等一式(〇〇社見積のとおり)	5,000 千円
	・事務機器(〇〇社見積のとおり)	700 千円
	・備品類(〇〇社見積のとおり)	200 千円
	・保証金	1,000 千円
設備資金の小計(1)		6,900 千円
運転資金	商品仕入、家賃、人件費等が対象です。	
		8,600 千円
	(内訳)	
	・外注費支払	2,700 千円
	・諸経費支払	5,900 千円
	(システム開発に最短でも3ヶ月かかるため、つなぎ資金が必要)	
運転資金の小計(2)		8,600 千円
必要額の合計(3) = (1)+(2)		15,500 千円

必要資金の調達の内訳		金額(千円)
自己資金(1)		5,500 千円
親、兄弟、知人、友人等からの借入(2)	借入先 返済方法	
沖縄公庫からの借入(3)		5,000 千円
元金70千円×86回(年〇.〇%)		
他の金融機関等からの借入(4)	借入先 返済方法	5,000 千円
〇〇銀行 元金60千円×84回(年〇.〇%)		
調達額の合計(5) = (1)+(2)+(3)+(4)		15,500 千円

合致します

5 事業の見通し(月平均)

単位:千円

	創業当初	軌道に乗った頃 (年 月 頃)	売上高、売上原価、営業費を計算した根拠を記入ください。
(1) 売上高	3,000 千円	3,900 千円	<創業当初> ①売上高 3,000千円/件×1件=3,000千円(要注契約書あり)
①			
②			
③			
④			
⑤			
(2) 売上原価(仕入高)	900 千円	1,170 千円	②原価率(外注費)30%(勤務時の経験から)
①			
②			
③			
④			
⑤			
(3) 売上総利益 (3) = (1) - (2)	2,100 千円	2,730 千円	③人件費 代表者1人、役員1人、従業員1人 (代)450千円+(役)300千円+(従)250千円=1,000千円 家賃 200千円
(4) 営業費			支払い利息(内訳) 5,000千円×年〇.〇%÷12ヵ月=〇万円 5,000千円×年〇.〇%÷12ヵ月=〇万円 計 30千円 その他光熱費、消耗品等 750千円
① 人件費	1,000 千円	1,400 千円	
② 地代家賃	200 千円	200 千円	
③ 支払利息	30 千円	30 千円	
④ その他経費	750 千円	950 千円	
・			
・			
・			
・			
・			
合計	1,980 千円	2,580 千円	<軌道に乗った後> ①創業時の1.3倍は可能(勤務時の経験から) ②当初の原価率を採用 ③人件費 従業員1人増、役員報酬・従業員給与増額 計400千円増 その他諸経費 200千円増
(5) 差引利益 (5) = (3) - (4)	120 千円	150 千円	← 事業主(会社組織の代表者等除く)の人件費と借入金の返済元金はここから支払われます。

※ 他に参考となる資料がありましたら、計画書に添えてご提出ください。